令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 広徳 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年6~7月に、2年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。(熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。)

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1.調査の目的

- (I) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調查内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走・20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ ※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

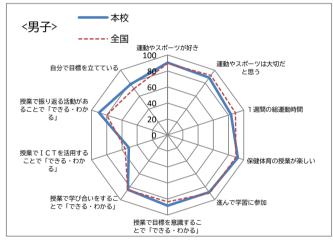
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	29.02	25.82	44.16	51.22	409.02	78.07	8.01	197.02	20.40	41.32
本市	29.72	26.24	46.29	51.95	413.28	80.12	7.86	201.52	20.51	43.46
本校全国平均以上の種目	0						0	0		

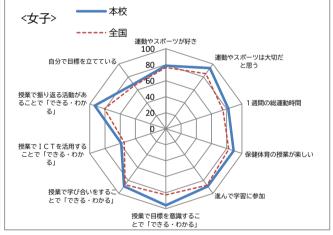
<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	23.15	21.62	46.27	45.65	306.26	50.70	8.95	166.34	12.43	47.22
本市	23.64	22.08	47.52	46.35	320.97	51.41	8.86	170.70	12.13	48.65
本校全国平均以上の種目	0	0	0	0		0	0	0	0	0

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート





質問紙調査の結果分析

「運動が好き」「保健体育の授業は楽しい」の項目で平均を上回っている。また、「授業で目標を意識すること」「授業で振り返る活動がある」の項目で9割以上が肯定的な回答をしている。女子では、測定種目の全項目で平均を上回った。授業を通して、好き・楽しい・できる・わかるを積み重ね、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現していく資質・能力の育成を目指したい。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

種目ごとに運動につながるウォーミングアップや補強運動を工夫して取り組んでいる。種目によっては、動画 撮影をして技術取得に生かすなどICT活用したが、いろいろな使い方を工夫して定着を図りたい。それぞれ の運動によって高まる体力についての知識を深め、実践では活動量を確保することで、体力の向上を目指し たい。

② 運動習慣等に関する取組(|校|取組)

5校時開始前に「ストレッチタイム」を設け、全校で取り組んでいる。生徒だけでなく、教師も一緒になって行い、毎日の運動習慣として位置づけている。柔軟性の向上を図るだけでなく、午後の授業前のリフレッシュ活動として運動の必要性などを実感できるようにしていきたい。